

令和 8 年 9 月 1 5 日
総 務 省
一般社団法人全国過疎地域連盟

令和 8 年度過疎地域持続的発展優良事例表彰における
総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞の選定

総務省及び全国過疎地域連盟は、令和 8 年度過疎地域持続的発展優良事例表彰における総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞を以下のとおり選定しました。

表彰式については、10 月 29 日（木）福井県にて開催予定の「全国過疎問題シンポジウム 2026 in ふくい」において執り行う予定です。

1 過疎地域持続的発展優良事例表彰について

本表彰は、過疎地域の持続的発展と風格の醸成を目指した過疎地域の取組を奨励するものです。

過疎地域持続的発展優良事例表彰委員会（委員長：図司直也法政大学教授）において、優れた成果を上げた過疎対策の先進的・モデル的事例としてふさわしい、地域の特性を活かした創意工夫ある優良事例を選定しました。

2 受賞事例

◎総務大臣賞（5 事例）

団体名	概要
かみしほろちょう 上士幌町（北海道 上士幌町）	寄付金を活用した子ども医療費・保育料無償化や ICT 教育を推進し、若年層の定住や移住促進につなげている。さらにドローン物流や自動運転バスの社会実証、家畜ふん尿によるバイオガス発電など再エネ導入を進め、SDGs 未来都市、自治体 SDGs モデル事業、脱炭素先行地域に選定されるなど、持続可能な過疎地域モデルを確立している。
いずみじちかい 和泉自治会（福井県 大野市）	移住定住を推進するため、自治会独自の和泉地区空き家バンクを設立・運営するとともに、マッチングツアーを実施している。また、一人暮らしの高齢者をサポートする「いずみ♡サポート隊」を設立し、共助による持続可能な地域づくりに取り組んでいる。

あやべし 綾部市（ あやべし 京都府綾部市）	市の PR や交流促進を目的に平成 11 年度に開始した「ふるさとあやべの応援団」制度は、会員に綾部の魅力的な特産品を「ふるさと便」として送付し、特産品の安定的な需要を生み出すことで、地域の応援、生きがいづくりに繋げている。また、季節の情報や生産者インタビューを掲載したニュースレター、来訪促進のための市内施設無料利用券等の提供を通じ、多様な人々との関係を構築し、地域活性化や関係人口増加に寄与している。
えるえるびー LLP でおおする会 （ おおなんちょう 島根県邑南町）	邑南町口羽地区において、役場や公民館などが直接手助けすることが困難な地域課題への支援を目的に設立され、高齢者生活支援を中心に、作業代行派遣、高齢者が集う場の設置などを行うほか、新聞販売業や仕出し業を担い、地域で重要な事業の継続的支援を実施している。また、地域で活動したい団体・事業体において、活動のネックとなる会計・事務業務をサポートすることにより、少ない人数で地域課題に取り組める手法を確立し、中山間地域直接支払協定事務やデマンドバス運営をサポートするなど、他団体等と共同での取組を実施している。口羽地区だけでなく近隣地区にまで活動範囲を広げ、事業展開を行っている。
かりとりもさくの会 （ せいよし 愛媛県西予市）	西予市明浜町狩江地域では自治会を中心に地域づくり組織「かりとりもさくの会」を立ち上げ、田舎体験や修学旅行、企業研修、大学実習など多様な受入れを実施している。さらに、地域おこし協力隊の導入、廃校のワーケーション施設化、移住者向け空き家改修、地域食堂の開催、地域団体への支援など、交流促進と地域活性化に向けた幅広い取り組みを展開している。

◎全国過疎地域連盟会長賞（4 事例）

団体名	概要
ここさと 合同会社COCOSATO（ さかたし 山形県酒田市）	地域振興を目的に令和 3 年に設立され、じゅんさい採り等の体験観光開発や、地域の魅力を PR する動画・楽曲の作成やイベントを企画するなど、地域資源の掘り起こしと情報発信に取り組んでいる。また、同地区が令和 6 年 7 月に記録的な豪雨災害に見舞われた際にはボランティア団体を設立し、復興支援に尽力した。現在は「防災学習」として視察研修の受け入れや、市内高等学校の探求学習に対応するなど、防災意識向上のための活動を行っている。

地域法人おせっかいさん (広島県三原市)	「おせっかい」を通じて、人が減っていく地域から「温かさ」と「可能性」が増える地域となることを目指して、三原市立大和中学校の総合学習のサポート等を行っている。学校や地域住民、企業、行政、大学生等と連携することで、総合学習を多世代協働で継続的に行える仕組みにするとともに、地域資源を活用した商品開発やクラウドファンディング活用の支援を行うことで、こどもたちが地域と関わる多様な体験の機会を創出している。
鍛冶屋町通りの街並み保存と活性化を計る会 (熊本県人吉市)	歴史的建築物の保存と景観保全、ウンスンカルタの復興及び国際交流など伝統文化を生かした活動を展開している。また、地域住民が主体となって居住環境の向上とともに街並みの保全と活性化に取り組む姿は、地域の誇りや文化を未来へつなぐ新たなまちづくりの形として広がりを見せている。
くらしのサポートセンター (大分県九重町)	地域住民が主体となって、地域の困りごと（ゴミ出し・草刈り・買い物・移動など）に対し、お互いに助け合い、支え合って解決する仕組みを構築している。その中で、地域の「障がい者向けグループホーム」と交流や話し合いを重ね、地域の担い手として活動してもらう契約を締結し、障がいのある人が、支えられる側だけでなく、支える側として地域に参画する活動を展開している。

※一般社団法人全国過疎地域連盟は、過疎関係都道府県及び過疎地域市町村等を会員とする団体で、会員相互の緊密な連絡提携により、過疎対策事業の充実強化を図り、過疎地域の持続的発展を促進し、過疎地域における産業・経済の開発振興と、地域住民の生活と文化の向上を図ることを目的とする団体です。

連絡先

(総務大臣賞について)

総務省自治行政局過疎対策室

野口、宮田

電話：03-5253-5536

(全国過疎地域連盟会長賞について)

一般社団法人全国過疎地域連盟

菊地、吉川

電話：03-5244-5827